

(様式第13号)

大阪市地域公共人材 派遣報告シート

■事務局記入 ■人材記入

| | | | | |
|-------------|---|--|------------------------|--------------------|
| 派遣通知（団体）No. | 派遣人材名 上：登録no 中：派遣通知no 下：名前 | 13-037 | 14-010 | 21-001 |
| | | 林 久善 | 金 志煥 | 栗田 佳典 |
| 派遣先（名称） | NPO法人輪母ネットワーク | | | |
| 派遣計画書の内容 | 初回ヒアリング | 2024年9月5日 | 3回次 | 課題・問題点（活動について考える） |
| | 1回次 | ビジョンの共有 | 4回次 | 方法・手段（組織ハードから） |
| | 2回次 | ミッションあるべき姿を描く | 5回次 | 方法・手段（ソフトから） |
| 派遣回次 | 5回次 | 派遣日時 | 2025年3月13日 13:30~15:20 | |
| 参加者 | 地域 4名 | 人材 事務局 2名 | 3名 区役所 まちセン | 名 名 名 () |
| 活動内容 | ●派遣依頼内容 団体の組織運営などについて改めて総合的に見直し、運営計画をつくりたい。 ・法人格(認定NPOへの移行)、資金計画(寄付型団体をめざしての資金計画と会計処理の総合的な見直し)、事務スタッフ(将来的な雇用) など | | | |
| | ●支援内容・プログラム ・方法・手段についてソフトから検討する観点から、前回のふりかえり、ロジックモデル（事業設計図）のたたき台を提示した。 ・団体内の対話が活発になるように留意しながらファシリテートするとともに、人材の専門性（公認会計士、NGO実践者）の観点からもコメントを挿入しながら対話を運営した。 | | | |
| | ●成果 ・団体のAさんが他のスタッフにホワイトボードを使って、5月から当面の活動内容と資金計画を示したことにより、団体内に安心感や納得感が生まれ、一体感につながった。 ・人材が有する専門的なアドバイスが有効に機能した。 | | | |
| | ●今後の予定 最終回のため、今後の予定は特段なし。 | | | |
| 所感 | 登録no. 名前 | 所感 | | |
| | | ・団体内の意識の違いがどの程度埋まるか?ということが、今回の人材のミッションであったと考える。前回までその意識の違いを埋めるのに、事前に団体のAさんと対話の構成を打ち合わせて臨んだ。 ・各人材の専門性が発揮できたと感じました。 | | |
| | | ・団体内の意識の違いについては、団体のAさんの事業計画の可視化とわかりやすい説明で団体内の不安がある程度払拭されたと思います。ワハハ(輪母)の場合は来るのは拒ばず、去るものは追わずの方針で困っている方に寄り添うことができればと思います。 | | |
| | ・2025年度の計画があることで、まず1年何をするのかが明確になった。変化の積み重ねが大切で団体内の想いに耳を傾けながら、団体として、その力を発揮できる体制になっていってほしい。そのためにも今後もメンバー間でのコミュニケーションが重要だと感じた。 | | | |